

まちの声



今回の「まちの声」はフットクラブ会長の荒井一隆さん(88)から、お話をお聞きしました。



Q 議会だより読んでの感想を伺います。

A 今まで何気なくただ読んでいました。最近今までと違う感じの紙面構成になっていました。見出しが要点を一目見てわかりやすいものになっている。次の文章何を書いてあるのか引き込まれていく感じがしました。「議会だ

より」を受け取って一読し、それで終わりとせず役立つ編集にも心がけてほしいものです。

Q 妹背牛町は住みやすいですか。日頃感じることは何ですか。

A 地方から来られた方から「素晴らしい自然豊かでのどかで良いですね」と話を耳にします。また、産業、医療・福祉などに他市にない各種支援があることに驚いたと言います。まだまだ課題は多くありますが、議会の中で取り上げてもらいたいものです。

Q これからの妹背牛町についてどう思いますか。今後どうしてほしいと思いますか。

A 今は元気で買い物や診療所には歩いて行けるが、車の運転がいつまでできるのか心配です。高齢者の方の中には「もうそろそろ免許返納を考えている」と話されている方もいます。交通網を考えるときがくる。最寄りの商店にない物を購入を考えたなら、近隣の商店まで車を走らせています。車がなくなると大変。誰もが気軽に、面倒な手続きをしなくても利用できる方法をかんがえてほしいと思います。



編集後記

今秋も台風が発生しました。過去に例がない危険な台風でしたが、北海道を避けるように温帯低気圧になりました。北海道は大きな被害にも見舞われず豊穡の秋を迎えたわけです。台風で犠牲になられた方のご冥福をお祈りいたします。また、被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

さて、今年はコロナと共存する社会となってきました。本町でも商工会の遊歩市・ビールパーティー、また、JA青年部の焼肉パーティーが縮小した形にはなりましたが復活し、3年ぶりに夏ならではの一時を作って頂きました。

議会におきましては、3年ぶりに議員研修会が開催されました。10月には、決算審査特別委員会が召集され、付託された議案を慎重審議し決算認定にいたしました。広報特別委員会では、前号の「議会だより」より一般質問、Q & Aの見出し等をわかりやすくしております。

これからも見やすい「議会だより」をめざしますのでお気付きの点又は、ご意見等がございましたらお気軽にお寄せください。

広報特別委員会

- 委員長 佐々木和夫
- 副委員長 田中 春夫
- 委員 渡辺 倫代